



「地域共生のいえ」とは、オーナー自らの意思により家・建物を地域の公益的かつ営利を目的としないまちづくり活動の場として地域に役立てる取り組みです。

地域共生のいえ かわら版

第4号

発行月：平成26年12月26日

発行：一般財団法人世田谷トラストまちづくり

ふ れ る ・ つ な が る ・ ひ ろ が る

今号でとりあげる「いえ」

- えんがわぼっこの家 1
- COSちとふな 2
- 岡さんのいえTOMO 3
- 茶論ONECOIN 4
- 椎の木 5
- 読書空間みかも 6



地域共生のいえ
かわら版
第4号

2014年11月、17ヶ所目の「いえ」が誕生しました！

1 えんがわぼっこの家



2人で相談しながら、
ゆっくりとまちにひらいて

小田急線の豪徳寺駅から徒歩1分、家の前で振り返ると豪徳寺駅のホームが見えるほどの近さに建つ「えんがわぼっこの家」。家の中からお庭を眺めるとモミジやウメ、ツバキやツツジが迎えてくれて、郊外で旅館の庭を眺めているような気分だ。

「このお庭を、私達だけで眺めているのはもったいないよねって言うていたんです」と話してくれるのは荒木悦子さんと



長谷川明美さん。2人はいとこ同士。ここは元々は叔母さんが暮らしていた家。2009年に叔母さんが亡くなり、2人が譲り受けた。

独り占めするのはもったいない。けれどもどのようなひらき方があるのか。手探りしながら、2010年に世田谷トラストまちづくりの「小さな森」制度に登録。まずはお庭を開放する日を設けてみた。今までは「お客様が来るから雑草が茂っているのはダメ」と思っていたことが、選択的除草（根こそぎではなく、外来種などは選択して除草すること）という概念や、色づいた落ち葉はそれはそれで彩りでいいんじゃないかと専門家のアドバイスをもらうことで、2人もまた、新しい知識をもらったという。

皆がひなたぼっこできる家と庭へ

この間に、時々荒木さんの職場の同僚

をお招きしてみたこともある。お庭があって、昔ながらの間取りに「まるで料理屋さんに来たみたい」と意外にも大好評だった。

色々なことを再認識し、ボランティア精神にあふれていた叔母のことを想いながら、介護に関わる人の場になればと考えていた。地域共生のいえ「あばら屋春夏」にも見学に行ってみた。こうして2014年4月からの試行期間を経て、11月に毎月第2水曜日に家族を介護している人がゆっくり過ごせる地域共生のいえとしてオープンした。梅丘あんしんすこやかセンターともつながり、家族を地域で見守る拠点のひとつになりつつある。

最近ではアロマオイルでのハンドマッサージをしてくれる人も参加している。お庭を眺めながら、縁側でひなたぼっこをするように、皆さんがほっこりと時間を過ごしてくれれば、2人で相談しながらひらいた甲斐があるというもの。

小さな和風のいえとお庭は、叔母さんだったらきっとこんなかたちを喜んでくれる、まちの人々が憩う場になるうとしている。

「ニヤー」

ここを我が家とするネコのみいたんがやってきた。みいたんも又、このいえを見守る立派なメンバーの一員だ。

■DATA
所在地 豪徳寺 1-32-14
連絡先 070-1423-0501
活動日 毎月第2水曜日 10:00~14:00



入居団体が協力してお祭りを開催！

2 COSちとふな



7回目を過ぎ、
にぎやかにまちとつながる
「キッズフェスタ」

小田急線千歳船橋の駅改札を出ると、バンドの生演奏が聞こえる。フリーマーケットや間伐材を使った積み木、ペーゴマなどが並び、COSちとふなへと続いている。「あらー釣れた釣れた。よかったねえ」入り口でやっているヨーヨー釣り。子どもの手だけでは持ちきれず色とりどりの球がパパやママの手を彩っている。建物の中からは小さな子達手作り帽子をかぶって次々と出てくる。COSちとふなが年に一回開催する「キッズフェスタ」の一コマだ。フリーマーケットでは思い思いの服や靴が並べられ、積み木コーナーでは子どもが自分の背丈と同じくらい積み上げてはしゃいでいる。

今年で7回目を迎える「キッズフェスタ」。

COSちとふなの山崎富美子さんはこの地で工務店を営み、2人の子どもを育て、介護も経験してきた。子ども会やPTA、町会といったまちのつながりの中で生きてきた。「昔はこんな握りこぶしぐらいの大きなボタモチ作ってねえ、ご近所に配ったものよ」山崎さんは、人が喜んでくれることが自分の喜びだという。



入居団体が話し合い、協力する仕組みが出来て

ご主人が亡くなり、自宅の建て替えの話が持ち上がった時に、皆様のお役に立つような使い方をしてもらいたいというのが山崎さんの希望。NPO法人SAHSが中心となってコーディネートから運営まで



■DATA
所在地 船橋1-1-2
連絡先 03-3420-6060

を協力。1、2階には地域に貢献する5団体が入居し、COSちとふなが2005年にスタートした。

入居団体は現在、リサイクルショップ「水・緑・木地」、指定居宅介護支援事業所「ACT」、訪問介護や子育て支援の事業所「ゆりの木」、アロマトリートメントの「香音」、車椅子などの移動サービスを担う「全国移動ネット」。入居団体同士で運営の仕組みも話し合ってきた。落ち着いた3年目。せっかくだから子ども達のために1年に1回くらい何かやりましょう、という話になり現在のカタチがある。2階には多目的スペースもあり、「ゆりの木」が管理している。一般の人でも利用でき、現在では詩吟、手芸、麻雀など趣味のサークルで大人気。入居団体が皆で顔をあわせて話せるスペースにもなることで、イベントの企画や実行もスムーズだ。元々人のためにまちのために動くことをいとわないメンバーな上に山崎さんは地元と幅広いつながりを持つ。主催するイベントに人が集まらないわけがない。

山崎さんがかつて家族と過ごす時間の中で作り、近所に配った「ボタモチ」は「相手が喜んでくれたから自分も嬉しい」という山崎さんの想いととも、かたちを変えてまちの人に届いている。



水餃子イベント 好評です！

中高生の居場所作りを模索する今年の岡さんのいえTOMO。「餃子パーティ、次はいつなの？」前回の餃子パーティ終了後の中学生からの熱いアンコールを受けて東京大学の中国人留学生2人から、モチモチの水餃子の皮や中に入れるタネの作り方を学んだ。野菜切りは手際の良い中学生に任せ、皮伸ばし

3 岡さんのいえTOMO まちのお茶の間

は手先が器用な大学生に。おろし器に興味津々だった小学生は、じいじとばあばに手伝ってもらいながらにんにくおろしに挑戦。小さな子どもから大人まで、時間をかけて作った水餃子を頬張り、「やっぱり自分で作るとおいしいね」とご満悦。満面の笑顔があちらこちらで咲いていた。

最近のトピックス



■DATA
所在地 上北沢3-5-7
連絡先 090-8332-7514
HP <http://www.okasannoie.com/>

ソーシャルダンス 教室の日

半地下の部屋から華やかなワルツの調べが聞こえてくる。茶論 ONE COIN で毎週開かれている「ソーシャルダンス教室」だ。壁面の鏡で、フォームを確認できる。講師である白木寿美子さんは、「大人数の教室は敷居が高い方でも、ここならばとらしていただける。貴重な場所です」と話す。数年前に大病を患ったという安藤吉郎さんは、踊れるま

4 茶論 ONECOIN お年寄りの心の拠り所

でに復帰。今やデイサービスでは、ダンスタイムの人気者だそう。ダンスの基本は背筋を伸ばした歩行とかかかとの着地。この基本動作を重ねることで体幹が鍛えられ、転倒や骨折の予防にもなるという。高齢者がいきいきと活動し、仲間作りの場になっている茶論 ONE COIN。今日もときめきと健康をもたらしてくれている。

最近のトピックス



■DATA
所在地 宮坂2丁目
連絡先 090-8002-3539
活動日 ソーシャルダンスは毎週水曜日午後、その他の活動はお問い合わせください。

高齢者と学生の新鮮な交流が生まれています！

5 椎の木

我が家で過ごすようなひと時



おうちに帰ったようなひと時を

我が家にいるようなひと時を、と上北沢ホームの入居者を対象に、月に一度谷本晶子さんの生家へ招いてゆったりとした時間を過ごしてもらっているのが椎の木。谷本さんは、お母様の介護に7年携わった。この7年は良くも悪くも濃密な時間だったとふりかえる。在宅介護からショートステイ、特養ホームへの入居の道のりも決して平坦ではなかった。介護に携わったことのある人ならば誰もが経験する先の見えない不安や、親との残された時間をどう過ごすべきなのか、暗中



模索する中で上北沢ホームと出会ったという。お母様は時々車椅子で自宅へ戻り、ひと時を過ごしてまたホームへ。お母様と最後の1年半はそんな良い時間を共に過ごすことができたと言う。

最後の最後まで人間らしく過ごさせてもらえた上北沢ホームに、少しでも恩返しができるほどの谷本さんの熱い思いが、2010年から始まった月一度の「椎の木」の活動へと結びついた。2011年からは、ホームに出向いて絵を描く「アトリエしいのみ」という活動も絵の先生を迎え、始まった。これらの活動には、谷本さんの友人や日本大学文理学部の福祉学科の学生も参加。谷本さんと一緒に高齢者をお迎えする準備をし、ひと時を過ごしている。夏にはとろろん作りや、秋には干し柿作りといった季節を感じて

もらう催し物を開催。柿の皮むきやとろろんの材料である天草を煮たりと、学生にとっては新鮮な体験の場に、高齢者にとっては懐かしい時間となっている。

「全部が今に結びついている」と、谷本さんは言う。お母様が入居できるよりに作った車椅子用のスロープ。そのおかげで今、椎の木を訪れる高齢者の方々はスムーズに入居できる。日本画を描き、院展にも出展されていたというお母様が植えた庭の樹木一本一本にもエピソードがあるという。その一枝を、「アトリエしいのみ」の時間に写生してもらったりするのも不思議な巡り合わせを感じる。たくさんの思い出を残して旅立ったお母様は今も、こうして新しい人達との思い出を作ってくれている。

新しい実を育てる「椎の木」

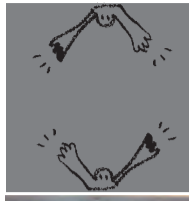
上北沢ホームの介護主任である枝孝治さんは「椎の木は入居者の皆さんには大変ご好評をいただいています。お元気な方はもちろんですが、そうでない方も行ったその日は、機嫌がよかったり、よく眠ってくれたり良いことだらけです」と話す。

12月の「アトリエしいのみ」の時間は、クリスマスツリーの飾りにと、テーブルに大学生が準備した様々なぬり絵カードが並んだ。筆で入居者の人達が色を塗っていく。一心に色を重ねる人、描けないと言いつつも筆を持つと色を塗り出す人、様々だ。谷本さんは、「皆で支えあっているこの場の活動を通じて、学生さんや若い人達に色々なことを伝えていければそれも大切なことだと思います」と話す。

谷本さんの恩返しは、実を結び新しい種を育てているようだ。



■DATA
所在地 桜上水3丁目



豊島区 リノベーション ションまちづくり



■ 消滅可能性都市から 持続発展都市をめざして

今年5月に民間有識者組織「日本創成会議」が発表した消滅可能性都市。全国自治体の将来推計人口により、2040年までに20～39歳の若年女性が半減し、人口を維持することができないとされる869の自治体のことで、豊島区は23区内で唯一指摘された。

豊島区といえば、池袋というターミナル駅を抱える人口密度日本一のエリア。しかし、区内の6割が29㎡以下の狭小住戸であり、子育て世帯が住み続けられないという実情も持つ。衝撃的な発表直後から、豊島区は、民間主導の官民連携による「リノベーションまちづくり」という新しい手法を取り入れ、子育て世帯が住み続けられるまちの実現に向けて動き出している。

「リノベーションまちづくり」とは、北九州市からはじまった産官学連携による、空間資源を活用して地域再生を行う手法。オーナーが提供する空き家等の遊休不動産に対し、そのエリアが持つ人・文化・歴史などの地域の潜在資源と、物件という空間資源を組み合わせた活用構想を提案し、事業化へ結びつける。事業化にあたっては、自走自立を前提としながらも、地域の特性を踏まえ、単に建物の価値だけではなく地域の価値を高め、地域の活力の向上や課題解決力の向上につなげていこうというもの。オーナーへの実際の事業提案までのプロセスを「リノベーションスクール」という実践講座形式で行う。これまで地方展開していた講座を来年3月、豊島区が都内で初めて開催する。

11月には、イベントとして参加者がまちの潜在資源＝お宝を探し、活用を提案してまちの可能性を探る「まちのトレジャーハンティング」を開催。12月からは、スクールで実践する物件の掘り起こしに向けた「リノベーションまちづくり塾」もスタートした。3月のスクールも最終日の受講生によるオーナーへの事業提案については、一般公開する予定だ。

まちの持続発展に向けてどのような地域の新しい価値を生み出していくのか、豊島区の今後の動きに注目だ。(担当：SK)

■リノベーションまちづくり塾(全3回)
①12/5(金)【終了】
②1/13(火)
③2/4(水)19時～豊島区生活産業プラザ8階
参加費無料
1回毎の参加可能。
先着100名まで。

■リノベーションスクール@豊島区
現在リノベーション事業計画コース受講生募集中。
募集締切1/20(火)
会場・スケジュール等
詳細は決まり次第ホームページにて発表。

お問合せ
豊島区都市整備部建築課マンショングループ
TEL 03-3981-1385
http://www.city.toshima.lg.jp/

クロスロード

平成26年5月、23区内で唯一「消滅可能性都市」とされた豊島区の新なる取り組みをご紹介します。

いえ ♡ モノノコト

6 読書空間みかもの黒電話

大正から引き継がれる空間



ダイヤル0のところ指を入れて回すと円の半周以上。それが元に戻ってから次の3を回す。

訪れる若い人が「戻るのに時間がかかるとはねえ〜」とつぶやいた。ピ・ピ・ピとブツブツする電話に慣れているとずいぶんとゆっくりとしたものを感じるらしい。

「今でも通じるんですか？」とお持ちの携帯電話から確認の

ために電話してみる人もいる。リンリンと大きな音が響き渡る。「おお〜」何げない黒電話。読書空間みかもでは、こんなことから会話ははじまる。(読書空間みかも 町田恵美子)

■DATA
所在地 奥沢2-33-2
連絡先 03-3718-2011
http://www.tamamati.com/network/net6.html
活動日 ホームページをご覧ください

いわば、地域の笑顔工房です あかねこうぼう

27年春がきました。雛人形展
2月15日(日)～3月3日(火)10時～15時(無料)

*お雛様ホームコンサート 3月1日(日)13時～
要電話申込み
中学生以上500円/小学生以下無料

■DATA
所在地 祖師谷4-7-18
連絡先 03-3482-1818

大正から引き継がれる空間 読書空間みかも
「第8回一箱古本市」出店者募集中!
開催日：2月15日(日)11時～17時

■DATA
所在地 奥沢2-33-2
連絡先 03-3718-2011

放牧する子育て
ルツの家×おでかけひろば@あみーご

おんぶと抱っこの相談会
1月28日(水)10時15分～

要申込：先着6組
参加費：500円(資料代)

出汁カフェ&『食べること』座談会
2月21日(土)10時半～11時半

要申込：先着8組
参加費：500円(材料費・1家族)
詳しくはhttp://plaza.rakuten.co.jp/atamigo/

■DATA
所在地 松原4-2-18
連絡先 03-3328-4411

木漏れ日のギャラリー 在林館

あとみよそわか展
1月8日(木)～2月26日(木)
毎週木曜日14時～18時

津端修一・英子夫妻の暮らしを紹介します。
詳しくは
http://aririnkan.blog.fc2.com/

■DATA
所在地 羽根木2-34-4
連絡先 03-3321-0530

掲示板

介護に関する情報交換サロン
ケアラーズカフェ KIMAMA

グリーンサポートケア
ワークショップ
2月19日(木)13時半～

身近な人の死から立ち直るためのセルフサポートケア
ワークショップ
詳しくはhttp://ckkimama.blog.fc2.com/

■DATA
所在地 桜丘5-15-11
連絡先 03-3439-1650

世田谷トラストまちづくり大学

「古い木造アパート再生」多世代交流の場づくり講座を開催しました！(10月～12月)

この専門講座は、まちづくり活動に関わる人材育成を目的とした連続講座です。講座の特徴は、実際の場で実践すること。今回は木造アパートの1階を改修し、認知症カフェを備えたサービス「タガヤセ大蔵」をフィールドにしました。講座で生まれたプロジェクトは5つ。①医療施設に入所する人や家族と地域とをつなぐ仕組みづくり、②太極拳や楽器演奏

を行うアーティスト訪問団の結成、③世代と地域とをつなぎ地域資源を活性化させる情報ネットワークづくり、④地元野菜を活用したカフェ&マルシェ、⑤大蔵地域を国に見立てたまちのデザインと拠点づくり。どの活動もタガヤセ大蔵を拠点に地域の人やモノが集まり、コトが起こる企画です。最終日の発表会には、子どもからお年寄りまで約50名が集まり、ダ

ンスあり、歌あり、笑いありのにぎやかな会になりました。講座は終了しましたが、今後の予定が決まっている活動もあります。28名の修了生の活躍に期待です。(担当：SY)



「トラまち」から